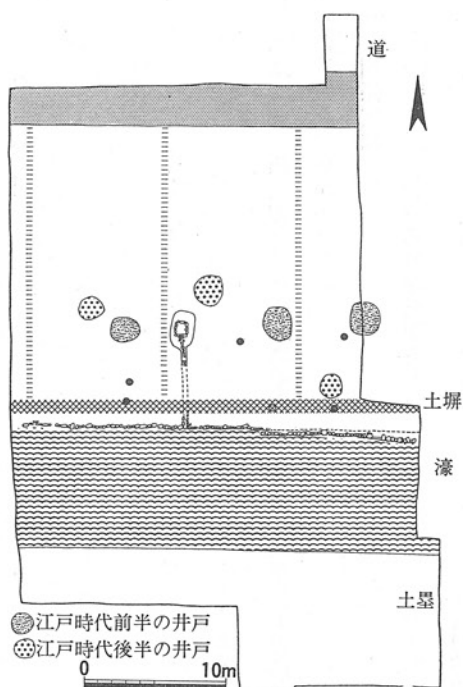


- (8) 「とく」(焼印) 175×43×9 011
- (9) 「志かい」(焼印) 173×45×8 011
- 井戸
- (10) 「二へ世行」 325×60×8 011
- (11) ・「老老貳」 60×26×8 011
- (12) ・「□□□頭巾別紙」 152×40×9 011
- ・「□ □ □」

(3)は短い角材の片面に墨書したものである。藤田文庫所蔵文書によると、この付近には公事人を止宿させる諫川源之助の河内屋があったとのことである。(3)の用途は不明であるが諫川源之助との関係が考えられる。同濠からは「新通かわちや」とガラスで記した磁器碗が出土している。(6)・(9)は長方形の板の一端に焼印を捺したものである。焼印を捺したものは総計一九点出土した。

9 関係文献

奈良県観光新聞社 「集奈良奉行所跡」(「奈良県観光」三〇九号) 一九八二年
(清田善樹)



奈良女子大学構内遺跡遺構配置図